

検定試験のすすめ

日本への留学、日本での就職のために



日本留学で成功の鍵を握っているのが日本語能力である。大学や専門学校に進学するためには、日本語学校等で日本語を習得することが欠かせない。そして、留学生の日本語能力を客観的に評価する指標として検定試験がある。ここでは日本の大学等に入学を希望する留学生の日本語力と基礎学力を評価する「**日本留学試験 (EJU)**」、日本語の能力検定試験として最も一般的な「**日本語能力試験 (JLPT)**」、職場で実務的な仕事をこなすための日本語能力を評価する「**J.TEST 実用日本語検定**」、ビジネスの場面で必要とされる日本語能力を評価する「**ビジネス日本語能力テスト (BJT)**」の4つを紹介しよう。

日本留学試験 EJU

日本留学試験は、外国人留学生として、日本の大学（学部）等に入学を希望する者について、日本の大学等で必要とする日本語力及び基礎学力の評価を行うことを目的に実施する試験である。日本語力のほか、基礎学力は理

科（物理・化学・生物）、総合科目、数学の試験があり、各大学等が指定する科目を選択して受験することになる。基礎学力科目については日本語または英語での受験が可能である。

【実施者】

独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）

【試験日程】

年2回（毎年6月と11月）

【試験開催地】

日本、インド、インドネシア、韓国、シンガポール、スリランカ、タイ、台湾、フィリピン、ベトナム、香港、マレーシア、ミャンマー、モンゴル、ロシア

【試験科目】

科目	目的	時間	得点範囲
日本語	日本の大学等での勉学に対応できる日本語力（アカデミック・ジャパニーズ）を測定する。	125分	読解 聴解・聴読解 0～400点
			記述 0～50点
理科	日本の大学等の理系学部での勉学に必要な理科（物理・化学・生物）の基礎的な学力を測定する。	80分	0～200点
総合科目	日本の大学等での勉学に必要な文系の基礎的な学力、特に思考力、論理的能力を測定する。	80分	0～200点
数学	日本の大学等での勉学に必要な数学の基礎的な学力を測定する。	80分	0～200点

※日本国外での受験については、実施地の関係機関へ問い合わせること。http://www.jasso.go.jp/ryugaku/study_j/eju/examinee/contact/
※入学選考に日本留学試験を利用する日本の大学等の詳細は、「日本留学試験利用校リスト」http://www.jasso.go.jp/ryugaku/study_j/eju/examinee/use/を確認のこと。

日本語能力試験 JLPT

日本語能力を測定し認定する試験。試験は日本を含む世界81の国と地域で行われている（2017年現在）。日本語を母語としない人を対象に行われる日本語の試験としては最も受験者が多い。日本に来るまでにN5レベ

ル取得を、また大学や専門学校に入学する時点までにはN2レベル取得を目指したい。日本で就職をするならN1レベルは必要である。

【主催】

公益財団法人日本国際教育支援協会（日本国内）、独立行政法人国際交流基金（海外）

【試験日程】

日本国内：年2回（毎年7月と12月の第1日曜日に行われる）

【試験のレベル】

N1、N2、N3、N4、N5の5つのレベルによる試験を実施。

【試験科目】

N1、N2は「言語知識（文字、語彙、文法）・読解」と「聴解」の2科目、N3、N4、N5は「言語知識（文字、語彙）」「言語知識（文法）・読解」「聴解」の3科目。

【実施地】

国内・海外とも詳しくはホームページで確認のこと。国内：<http://infojees-jlpt.jp/> 海外：<http://www.jlpt.jp/>

【結果の発表等】

合格者には日本語能力認定書を送付。また、日本国内での受験者全員に合否結果通知書を送付。海外での受験者には2014年から合否結果通知書のかわりに証明書を送付する。

日本国内の場合、第1回（7月）試験の結果は9月上旬、第2回（12月）試験の結果は2月上旬に送る予定である。海外の場合は、受験地の試験実施機関を通じて送るので、第1回（7月）試験の結果は10月上旬、第2回（12月）試験の結果は3月上旬に受験者に届く予定である。

J.TEST 実用日本語検定

【主催】日本語検定協会

J.TEST 実用日本語検定は、外国人の日本語能力を客観的に測定する試験として、1991年から実施されている。

会社員、留学生、来日する準備をしている人等、年間約5万人が受験している。試験は年6回実施されている。

【試験のレベル】

A-Dレベル試験：1000点満点で点数によって能力を特A級～準D級に判定する。400点以上の方には認定証が発行される。ただし「8分野の得点でゼロ点がないこと」が条件である。

出題内容	読解試験 80分	聴解問題 約45分
1. 文法語彙問題	1. 写真問題	
2. 読解問題	2. 聴読解問題	
3. 漢字問題	3. 応答問題	
4. 記述問題	4. 会話・説明問題	

点数と評価	・1000点満点（読解500点、聴解500点）
日本語能力試験 N1 = 650点～700点	
日本語能力試験 N2 = 550点～600点	
日本語能力試験 N3 = 400点～450点	
*日本語能力試験との比較は目安である。	

【試験のレベル】

E-Fレベル試験：500点満点で点数によって能力をE級かF級に判定する。250点以上の方には認定証が発行される。ただし「8分野の得点でゼロ点がないこと」が条件である。

出題内容	読解試験 70分	聴解問題 約30分
1. 文法語彙問題	1. 写真問題	
2. 読解問題	2. 聴読解問題	
3. 漢字問題	3. 応答問題	
4. 記述問題	4. 会話・説明問題	

点数と評価	・500点満点（読解300点、聴解200点）
日本語能力試験 N4 = 350点～（E級）	
日本語能力試験 N5 = 250点～（F級）	
*日本語能力試験との比較は目安である。	

2018年 J.TEST 年間実施予定（日本国内分）

- ・A-Dレベル試験 1月、3月、5月、7月、9月、11月
- ・E-Fレベル試験 1月、3月、5月、7月、9月、11月
- ・ビジネス J.TEST 3月、7月、11月

【試験開催地】

国内（A-D、E-F）

毎年実施：東京、名古屋、大阪、福岡

年3回（3、7、11月）実施：札幌、仙台、静岡、神戸、京都、広島、大分、沖縄

国内（ビジネス）

東京、名古屋、大阪、福岡

海外の実施情報は、ホームページでご確認ください。<http://j-test.jp/>

BJT ビジネス日本語能力テスト

BJTは、ビジネス場面での日本語によるコミュニケーション能力を測定するテストです。大学／専門学校へ入学する際、日本語能力の証明としてBJTスコアを利用できることが多くあります。また、BJTで480点を取得していれば、日本での在留に当たり様々な優遇が受けられる「高度人材ポイント制度」の申請において15ポイ

ントが加算されます。日本企業への就職の際にはBJTのスコアを持っていると評価されることが多いです。

2017年4月からCBT方式によるテストに移行しました。受験したい日に受験ができ、スコアが受験後すぐにわかります。前日まで予約ができるので、急に日本語の資格が必要になった場合などにも便利です。

【主催】

公益財団法人 日本漢字能力検定協会

【テスト日程・時間】

受験者が設定可能

※テストセンターのオープン日程から自由に受験希望日を選択できます。

【開催地】

日本（20都市／22会場）、中国（香港含む）、台湾、韓国、タイ、ベトナム、マレーシア、インドネシア、ミャンマー、シンガポール、インド、フランス、ブラジル、メキシコ

【テスト構成】

聴解（45分）	場面把握問題5問	発言聴解問題10問	総合聴解問題10問
聴読解（30分）	状況把握問題5問	資料聴読解問題10問	総合聴読解問題10問
読解（30分）	語彙・文法問題10問	表現読解問題10問	総合読解問題10問
計105分			

【テスト方式】

CBT（Computer Based Testing）方式

【テスト結果について】

0～800点のスコア形式でビジネス日本語能力を示します。テスト結果は受験後すぐに受け取れます。

【その他】

予約は前日まで可、変更／キャンセルは24時間前まで可。受験後、再受験するには3か月間あける必要があります。

留学情報社のホームページでも確認できます。

URL <http://www.study-ab.com>

